



JIBTの歴史

本大会は1979年から始まり、今年で45回目を迎えます。「スポーツフィッシング」という言葉がまだ日本では馴染みがなかった時代である1979年の第1回大会から、スポーツフィッシングの国際ルールであるIGFAルールに基づいて実施されています。1982年の第3回大会にはアメリカチームが参加。大使館所属のアイバーソン西太平洋漁業官をキャプテンに、ホルスタイン海軍中佐、シーグレイ海軍少佐といったチーム構成で、大会を大きく盛り上げました。この第3回大会が国際ルールに基づき、海外チームが参加した、日本で初の国際カジキ釣り大会となります。

対象となる魚 カジキ類（魚によってポイントが異なります）

魚種によるタグ & リリースポイント	クロカジキ	シロカジキ	メカジキ	マカジキ	バショウカジキ	フウライカジキ
	130ポイント			50ポイント		40ポイント

ラインの強さによるポイントの違い

上記の対象魚に加え、強度の弱いラインを使用して釣り上げた方がより高いポイントを獲得することができます。

タグ & リリースについて

「いい釣りをいつまでも。」のスローガンのもと、釣り過ぎによる資源減少対策と魚の回遊状況を把握するため、JGFAでは釣った魚に標識(タグ)を打ち、放流(リリース)する、タグ&リリースを推奨しています。JIBTにおいてもカジキ専用のタグを使用し、カジキをタグ&リリースした場合もポイントが獲得できるルールとなっています。

ルール

スポーツフィッシングの国際基準となるIGFAルールを適用します。

取材について

JGFAでは第1回大会から44回大会までの、動画・写真をご用意しております。
詳細については、JGFAまでご連絡ください。

TEL.03-6280-3950

公式ホームページ

<https://jibt.jp>



お問い合わせフォーム

<https://form.run/@pr-times-press>



LINE公式アカウント

ID : 826laftu

